

5. 火災時の措置

消火方法:不燃性の為、適用ないが、火災時の昇温で930°C以上に達すると亜鉛のヒュームを発生するので、水をかけて冷却する。

消化剤 :不燃性の為、適用なし。

6. 取扱及び保管上の注意

取 扱 :①比重 8.47 あり、見掛けは小さくても重量があるので、落下による怪我に注意する。
②同上の性状より、落下や衝撃によって対象物の損傷も大きい事に注意する。
③一般に反発応力(内部応力)を有するので、跳ね返りによる打撲、切傷などの受傷に注意する。
④切断加工した端面に触れる恐れのある時は、バリの残留で受傷する事があるので、直接触れず必ず保護具(軍手等)を着用して取扱う。

保 管 :①酸、アルカリ、強力な酸化剤、塩化物、硫化物等の化学物質と接触させない事。
②雰囲気として結露現象の発生しやすい温度、湿度並びに直接雨水や散水等と接触する恐れが無いよう注意する事。
③重量物であることより、保管場所の地盤安定性や傾斜による荷崩れの発生無きよう注意する事

7. 物理的、化学的性状

外観等 :光沢ある黄金色の固体
臭 い : 無臭
比 重 :8.47
融 点 :930°C
沸 点 :2,582°C(Cu)/907°C(Zn)
溶解度 :水に不溶

8. 曝露防止処置

管理温度 :混合物として特に規定なし。

許容濃度 :混合物の規定はないが、ヒューム・粉塵等が発生する場合は下表を参考とする。

対象物質	日本産業衛生学会	ACGIH(TLV)	OSAH(PEL)
銅	_____	許容濃度: TWA 1mg(Cu)/ dust and misuts)	_____
亜鉛	許容濃度:5mg/ (酸化亜鉛として)	_____	_____

9. 危険性情報

不活性で安定、不燃物である。(建設省認定:不燃物 1121号)

10. 有毒性情報

急性毒性 :金属銅粉末(Cu)経口-ヒTDL :120・/kg 食欲不振、悪心
亜鉛粉末(Zn) 吸入-ヒTCL :124 mg/・/50分 咳、呼吸困難、発汗